

## 連合福島男女平等推進フォーラム2015

# 女性参画社会をみんな目指そう！

### ～まだ固定的性別役割分担意識が根強く残っている～

「連合福島男女平等推進フォーラム2015」は、12月12日（土）福島市の福島グリーンパレスにおいて、各構成組織・地域地区連合から約150名が結集し、盛会に開催された。

まずフォーラム開催にあたり、主催者である連合福島男女平等推進委員会を代表して横山まゆみ代表幹事（JAM）が「連合第4次男女平等推進計画における女性参画の数値目標について、2020年まで達成できるよう、みんな考え、みんなで行動し、名実ともに男女がいきいきと働き、安心して生活を送ることが出来る社会を目指しましょう。」と挨拶した。



連帯の挨拶をする加藤事務局長

このあと、第1部として桜の聖母短期大学二瓶由美子教授を講師に迎え、「地域・職場における男女平等推進・男女共同参画の現状と課題」と題して講演を頂いた。二瓶教授は講演の中で、「日本には固定的性別役割分担意識がまだ根強く残っている。働き方の選択肢が限定され、女性が人材として活かされていない。」と



主催者代表挨拶をする横山代表幹事

さらに、連合福島の立場で、加藤光一事務局長から「女性活躍推進法が成立し、女性が活躍する場を広げて行くことは喫緊の課題である。連合福島も新たに青年女性連絡会を機能させ、男女が相互理解し男女平等を育む社会を目指す考え方を運動方針に盛り込んだ。次世代育成や研鑽の場として、積極的な参加と取組みをお願いしたい。」と連帯の挨拶を受けた。



ご講演頂いた桜の聖母短期大学二瓶教授

訴えた。第2部は連合が協賛しテレビ大阪で放映された「ブラック化するニッポン～使い捨てられる若者達を救え～」のDVDを上演し、未組織労働者に対して働く現場で起きている信じがたい事例を見ることで、未組織労働者への支援の重要性と労働組合の存在意義を改めて認識して頂きながらフォーラムは閉会となった。



熱心に聞き入る参加者の皆さん